



会 社 名 DOWAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 関口 明
(コード番号：5714、東証プライム市場)
問合せ先 経 営 企 画 部 長 江藤 宏樹
(TEL 03-6847-1106)

2025年5月13日に公表しました2026年3月期 第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (5/13公表)	331,700	12,800	15,300	9,500	159.55
当期実績 (B)	317,188	11,750	15,612	13,625	228.79
増減額 (B-A)	△ 14,512	△ 1,050	312	4,125	
増減率 (%)	△ 4.4	△ 8.2	2.0	43.4	
(参考)前第2四半期累計実績 (2025年3月期 第2四半期)	352,593	21,471	26,993	20,520	344.65

2. 差異の理由

当中間連結会計期間の事業環境につきましては、自動車関連製品及びサービスや情報通信関連製品の販売が増加し、環境・リサイクル関連サービスの受注は堅調に推移しました。一方で、新エネルギー関連製品の販売は前回予想を下回りました。相場環境につきましては、前回予想に対して平均為替レートは円安ドル高となり、主要な金属の平均価格は上昇しました。一方で、第2四半期末にかけて為替が円安で推移したことや貴金属相場が上昇したことに伴い、デリバティブ評価損失が拡大しました。営業外損益では海外亜鉛鉱山の持分法投資利益が増加しました。これらにより、売上高及び営業利益は前回予想を下回り、経常利益は前回予想を上回りました。また、法人税等が減少したことなどから、親会社株主に帰属する中間純利益が前回予想を上回りました。

以上